

平成29年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市ふれあい科学館
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

評価項目								
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）								
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）								
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）								
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）								
評価基準	総合評価	評点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)	総合評価経年比較				
				H26	H27	H28	H29	H30
90点以上	S	86	A	A	A	A	A	—
75点以上 89点以下	A							
60点以上 74点以下	B (標準)							
45点以上 59点以下	C							
44点以下	D							

H29実績			
指定管理料	307,470 千円	(前年度比)	(△ 5,437 千円)
利用者数	395,328 人	(前年度比)	(△ 7,783 人)
事務手続き	届出・・・○	協議・・・○	報告・・・○

サービス向上対策	
内容	新規
名誉館長松本零士先生の「銀河鉄道999」の作品を、21階展示ゾーンキッズプレイス壁面へディスプレイした。	○
日本宇宙少年団は気象衛星「ひまわり9号」の打ち上げを契機に気象庁と協力したベストリーを制作、それを科学館が借用し22階展望ロビー壁面へ設置した。	○
展示ガイドのリニューアルを行った。また、リニューアルした展示ガイドをウェブサイトで公開した。	○

評価概要
<p>平成29年度は利用者数が15周年記念事業を実施した平成28年度よりは減少しているものの、利用料金収入は平成27年度、平成28年度に引き続き増加しており評価できる。まず、市民の平等利用の確保については、事業の適切な実施及び配慮が必要な利用者への対応等、例年どおり全ての項目において高い評価であった。次に、施設の効用の最大限の発揮については、自主事業によりプラネタリウム番組放映を行なったほか、オーロラ生中継やプラネタリウム演劇を行うなど施設の効用を發揮するための工夫を行ったことにより、通常時より利用者数が増加している。また、企画展についても夏に初めて開催し、好評であったことから、今後も継続して開催することが望ましいと考える。その他、パブリックビューイングの開催、各種団体との連携事業の実施等利用客の増加を図っていた。三番目に管理運営体制については、人員確保について課題があるものの、サービス低下を招かないようにサービス向上に努めたことは評価できる。その他については、来館者の相談、要望等がまとめられており、職員全員が情報共有し、市への報告を行い、改善に努め、サービス向上に繋げていることが評価できる。今後の課題としては、利用者数の増加に繋がる魅力的な事業の展開や継続的なPR活動が必要と考えられる。</p>